

宮川右岸堤防（桜堤）の改修計画（案）

堤防整備  
計画区間

平成25年12月20日(金)

国土交通省三重河川国道事務所

# 桜の渡し跡・棒堤周辺の景観整備について



※各箇所整備図はイメージ図



宮川の渡し 歌川広重 (かめやま美術館所蔵)

- 桜の渡しはお伊勢参りの主要動線として大変にぎわった場所である。棒堤と樹木群、砂浜などが現存し往時の姿を今に伝えている。
- 例年、俣まつりでは「川渡しみこしの行事」が行われている。
- 宮川橋は桜の渡し跡の景観を損ねており、水辺整備の障害にもなっている。宮川橋の取り扱いが重要課題の一つである。



現在の桜の渡し跡付近 (右岸) : 棒堤と樹木群、砂浜などが往時の姿を伝えている。宮川橋が景観阻害要因になっている。

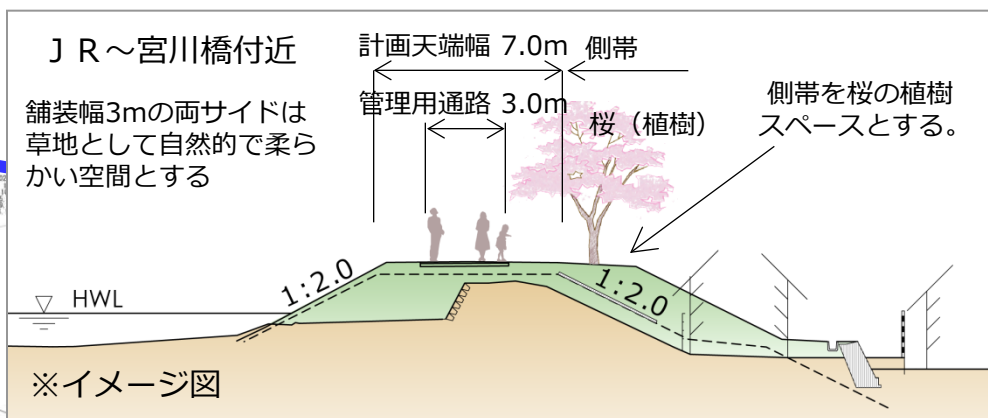
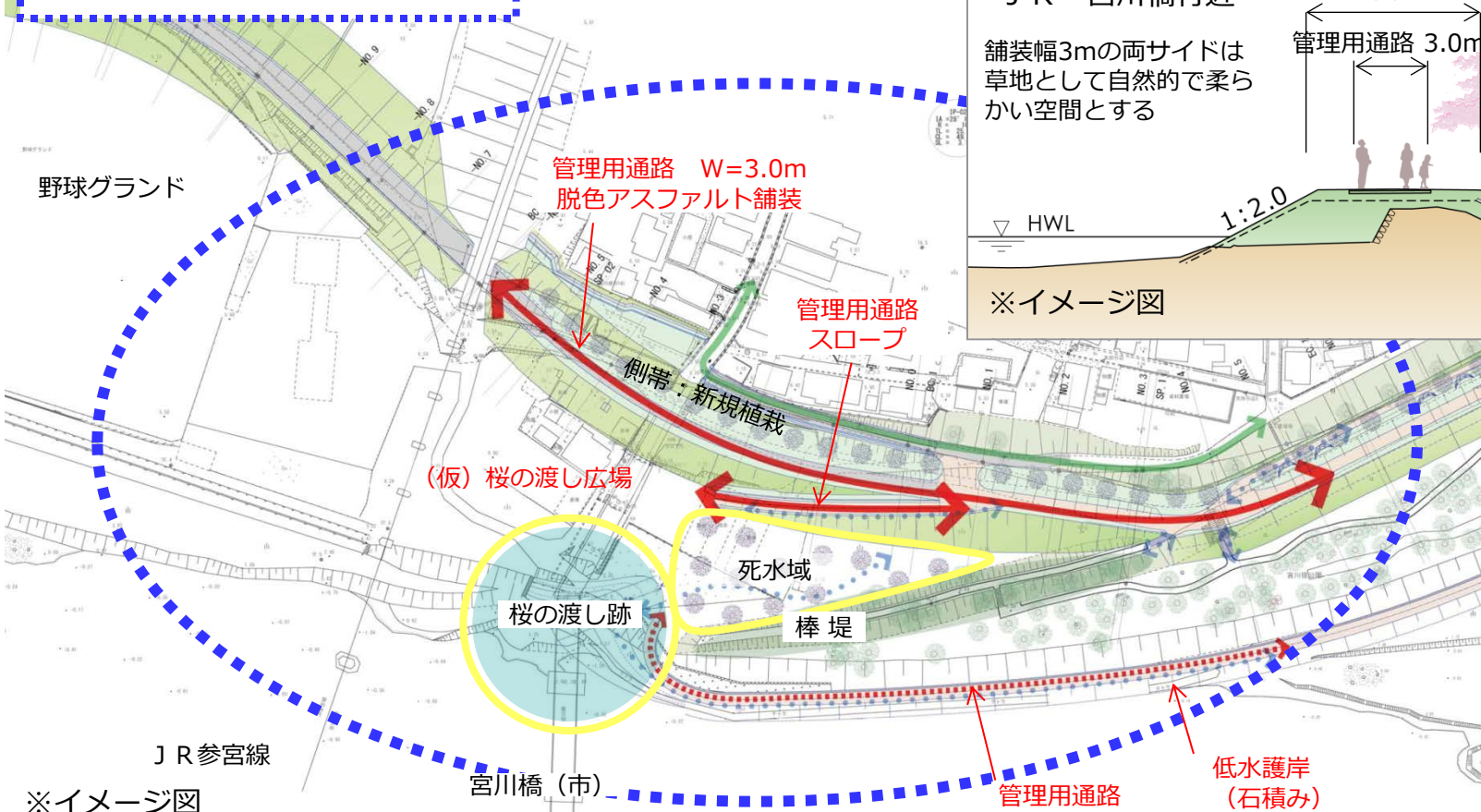


おばたまつり「川渡しみこし」

# 桜の渡し跡周辺の景観整備：基本方針

- 歴史的な土木文化遺産（棒堤と桜の渡し跡）を活かした水辺空間整備を行い、新しいにぎわいを生み出す。
- 【堤防整備】 突出堤より前に出ない位置で堤防断面を拡幅。舗装幅3m、両サイドは草地（自然的で柔らかい空間）。
- 【環境側帯】 桜の植栽スペースを確保する。（高木は1列植栽可能）
- 【棒堤】 突出堤の治水効果を最大限発揮するために、形状は出来る限り維持する。
- 【桜の渡し跡】 かつての渡し跡の水辺景観を参考に新たににぎわいの場を形成する。
- 【桜や松の植栽】 広重の絵に見られる松や桜は、治水上支障のない場所（側帯、高水敷の死水域）に植栽する。
- 【案内看板やサイン】 突出し堤や桜の渡し跡などの歴史や景観などを伝える案内サインを整備する。

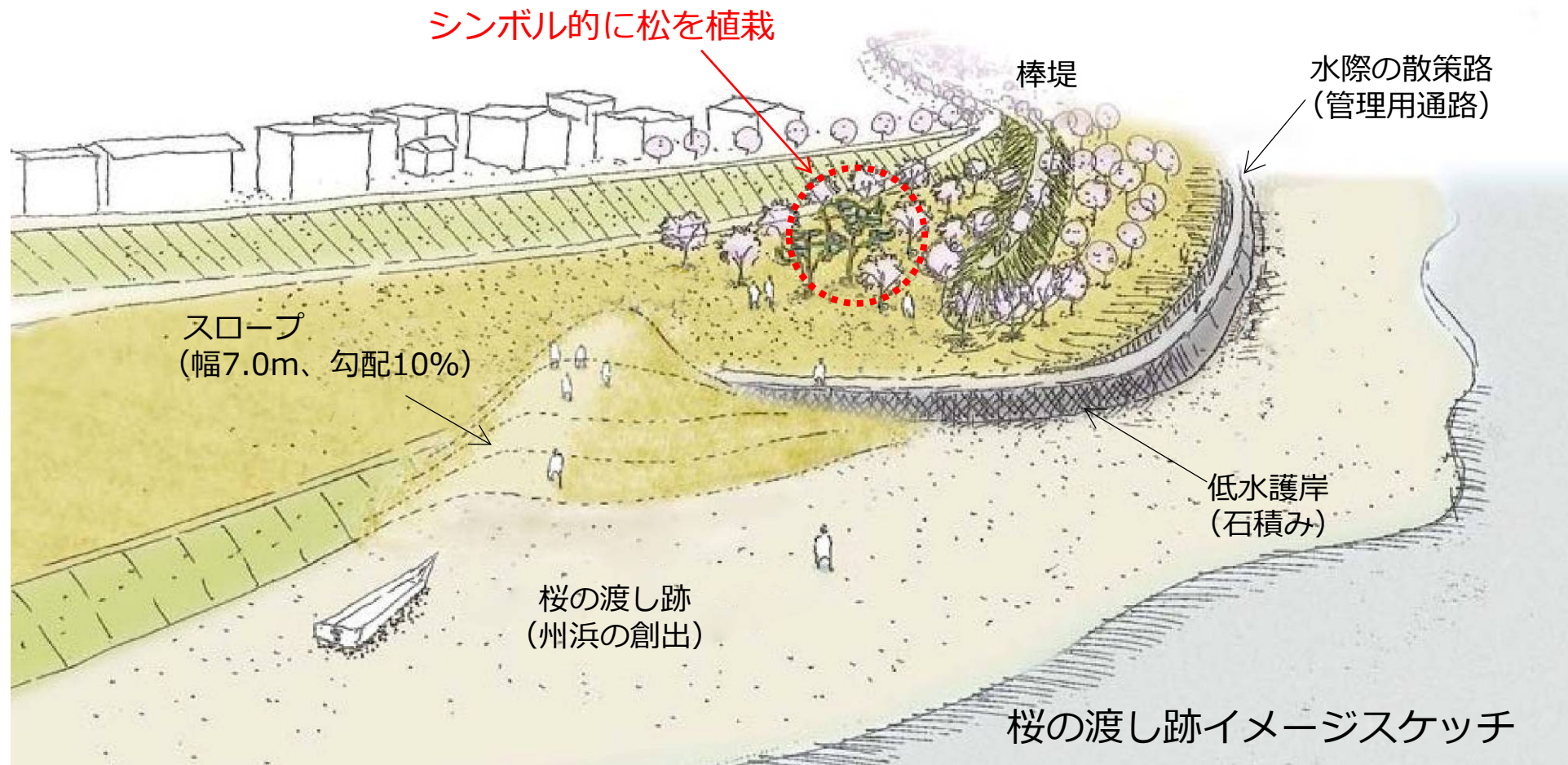
## 整備エリア：JR橋下流～棒堤



※イメージ図

## ◆かつての渡し跡の水辺景観を参考に新たなにぎわいの場を形成する。

- ・現在の砂浜を活かし、川渡しみこしの行事や水辺の活用がしやすいように地形処理を行う。
- ・棒堤に沿った水際部に低水護岸整備と併せて管理道（散策道）を整備する。
- ・広重の絵に見られる松を植えるとすれば、棒堤下流の高水敷（治水上支障がない死水域）が可能である。



- ・宮川橋の移設（架け替え）の整備が前提となる。
- ・高水敷が積極的に利用され、適切に維持管理されるためには、伊勢市や地元との協議が必要。

## ◆ 突出し堤や渡し場跡の歴史やかつての伊勢参宮の賑わいを伝える案内サインについて検討する。

- ・ 宮川堤という歴史的文化的景観にふさわしいサインデザインとする。
- ・ 対岸を見通して、左右岸を一体とした整備とする。



中島京町線（伊勢街道松並木）



宮川渡しの碑



案内板 桜の渡し



案内板 下の渡し（棒堤付近）



宮川親水公園 桜の渡し

# 桜堤区間の景観整備について



※各箇所整備図はイメージ図

- ・ 桜堤区間の宮川堤の景観的特徴は、堤防天端のトンネル状の桜と高水敷に広がる桜の景観である。
- ・ 突出し堤は、桜とともに伊勢神宮にまつわる歴史と文化を感じさせる重要な景観要素となっている。
- ・ 例年4月の桜まつりには多くの人々が訪れ、日常も散策などで地域の人々が利用している。
- ・ 桜や突出堤の歴史的な景観を保全し、新しい憩いの場を創出する整備が求められる。



駿河堤と桜堤



棒堤と桜堤



高水敷の桜



周防堤と桜堤



- 堤防の強化と歴史的土木遺産（突出堤）の治水機能の保全活用、桜堤の景観のバランスをとった堤防改修により、宮川堤の歴史と文化が織り成す潤いのある空間を整備する。

【堤防整備】 堤防を前腹付けして、現堤防を環境側帯とすることにより、桜堤の景観（桜のトンネル）を継承する。

【環境側帯】 環境側帯に桜の植栽スペースを確保し、1.5m幅の散策路を設ける。

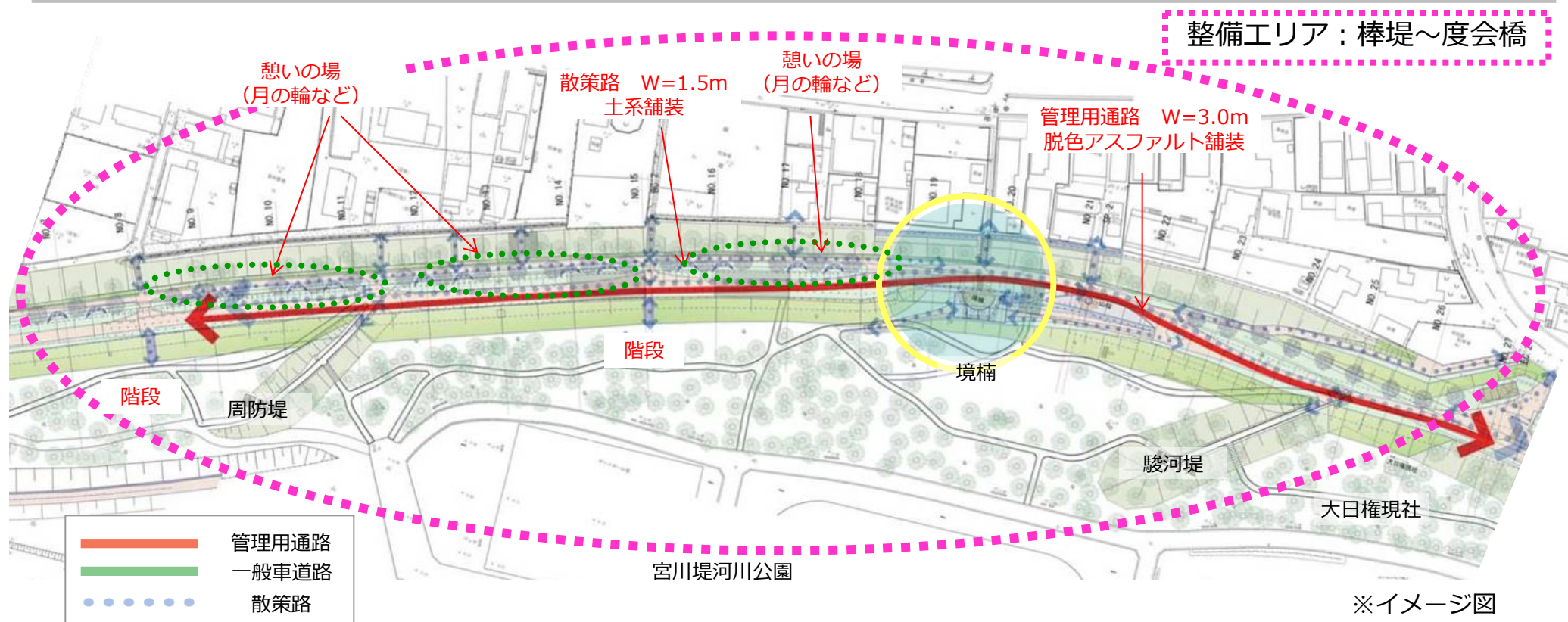
【突出し堤】 突出し堤の治水効果を最大限発揮するために、形状は出来る限り維持する。

【堤防天端】 側帯には、桜の季節だけでなく、日常の憩いや安らぎを感じる場所を整備する。（月の輪など）

【堤防と高水敷のアクセス】 高水敷へのアクセス確保のため、要所に階段、スロープを設置する。

【案内看板やサイン】 突出し堤などの歴史や景観などを伝える案内サインを整備する。

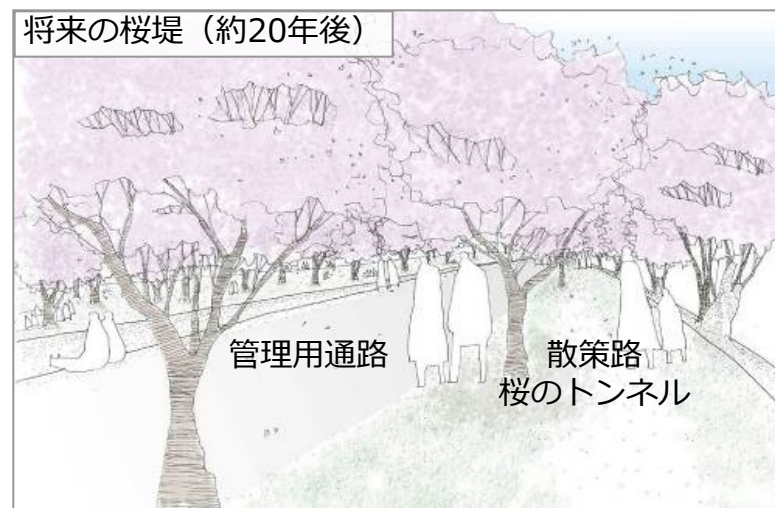
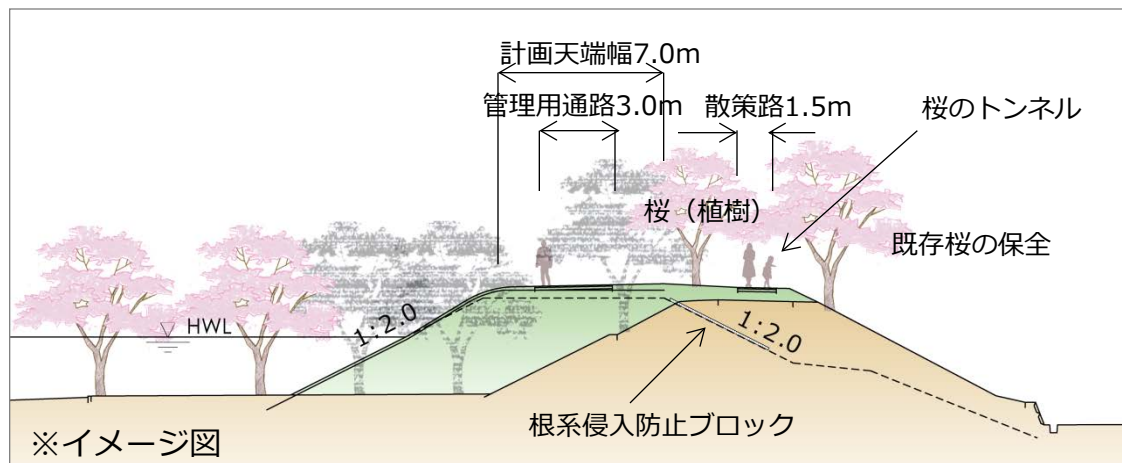
【境楠、大日権現社】 堤防強化断面を工夫し、現在の位置に存置する。



# 桜堤区間の景観整備：桜のトンネルの再現

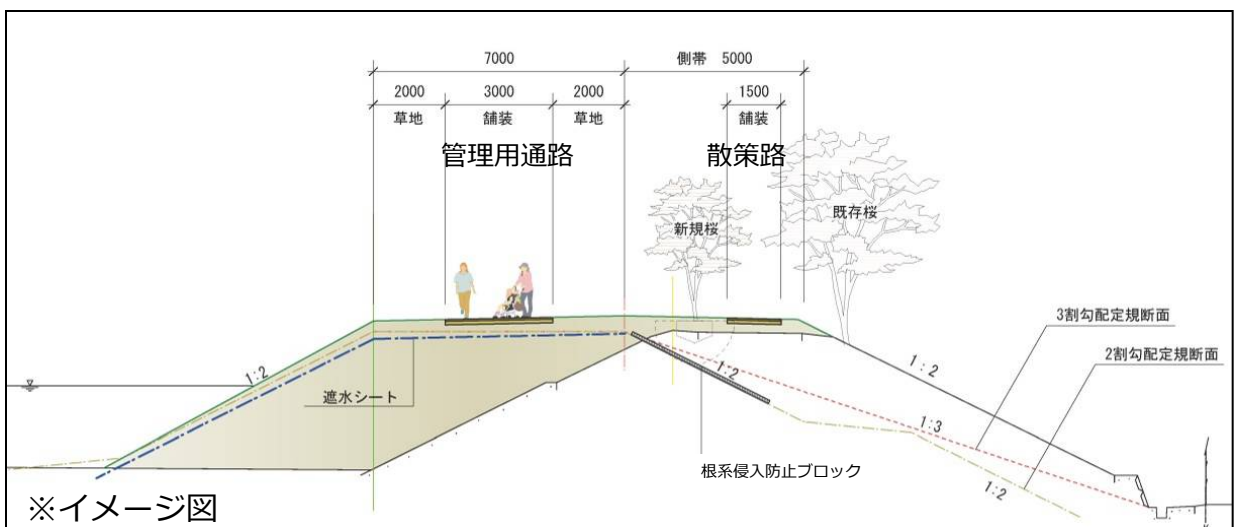
## ◆ 桜堤の景観的特徴である堤防天端の桜のトンネルの景観を再現する。

- ・ 前腹付盛土部を本堤とし、現堤は側帯として位置づける。既存桜（復列）のうち、川裏側は存置する。
- ・ 川表側の既存桜は堤防拡幅時に伐採抜根し、根系進入防止措置（ブロック）を施した後新規植栽する。
- ・ 20年後には現在と同じような桜のトンネルの景観の再現をめざす。（復列桜並木の復元）



# 桜堤区間の景観整備：憩いを感じられる堤防天端の整備

- ◆ 桜の季節だけでなく、日常の憩いや安らぎを感じる堤防天端の整備。
  - ・ 本堤の管理用通路舗装は3m幅（現況）とし、両サイドは草地（芝生）とし自然的で柔らかい景観を創出する。
  - ・ 歩行者動線（舗装）を河岸法面から離れた位置に誘導することによって、転落防止等の安全性が向上する。
  - ・ 側帯（現堤防）は、歩行者の散策路とする。1.5m幅（すれ違いできる幅）で自然景観に馴染む舗装とする。



※イメージ図

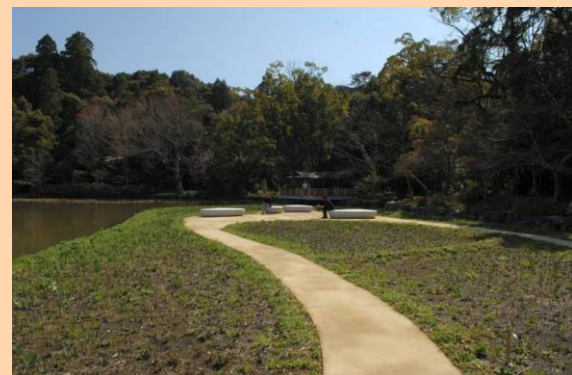


床上対策事業の堤防舗装：天端全体を舗装面（幅6m）とし、開放的な印象。

- ・ 管理用通路の舗装：自然的景観（桜並木、緑地）になじむように、土系色に近い脱色アスファルト舗装とする。
- ・ 広場や歩道等の舗装：温度上昇が小さく自然的景観になじむ土系舗装とする。



脱色アスファルト舗装（宮崎県西都市）



土系舗装（伊勢市・外宮式年遷宮館）



現在の桜堤：舗装幅は3mで、両サイドに1～1.5mの草地があるので自然的で柔らかい印象。現在の空間イメージを手本にする。

- ◆ 現在は堤防を散策する人がいても、桜の季節以外は比較的閑散としている。（現在は堤防上に休憩スポットがない）。
- ◆ 堤防上に人のにぎわいを生み出す工夫として、くつろぎや休憩ができる場所を整備する。
  - ・ 環境側帯の桜と桜の間に「月の輪」（小山）を設けて、新たな憩いの場とする。（木陰でくつろぐ、腰掛けるといった利用）。
  - ・ 月の輪の盛土は、水防活動時に水防資材（土のう）にも活用できる。
  - ・ 木のぬくもりがあり、座ることができるボードウォーク（ボードデッキ）も、お花見、散歩途中の休憩スポットなどとして有効に活用されると思われる。



半月状の小盛土

月の輪イメージ：玄海田公園（横浜市）



和泉川地蔵原の水辺（横浜市）



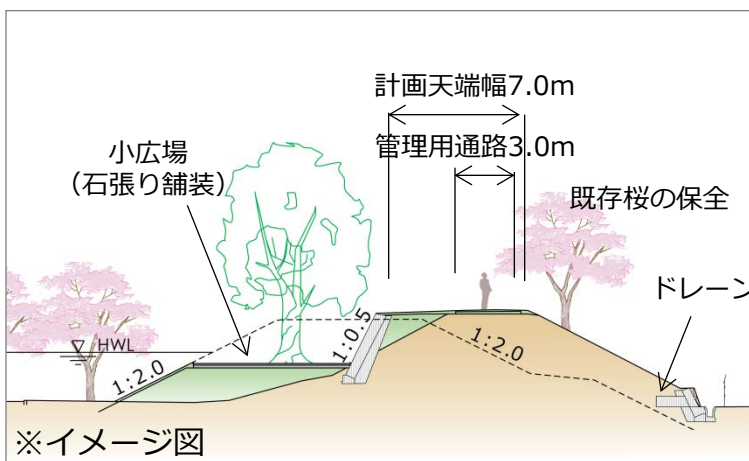
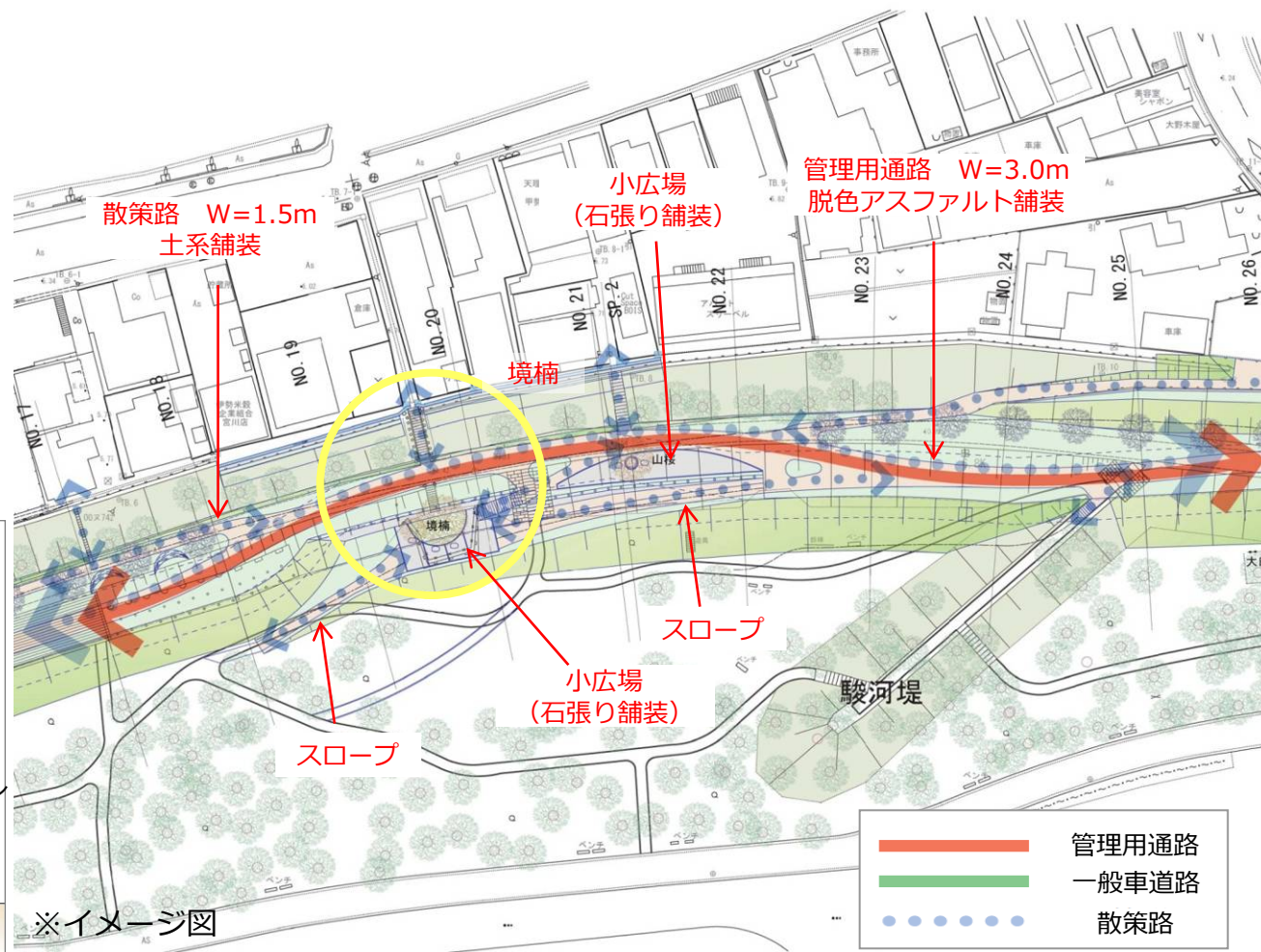
ポートサイド公園（横浜市）

# 桜堤区間の景観整備：境楠周辺の整備計画

- ◆ 境楠は中島町と宮川町の境にあり、古くから信仰の対象として親しまれている。
- ◆ 境楠は特殊堤断面（5分勾配の石積構造）により、現在の位置に存置し、小広場を設けて境楠にまつわる行事など広場的な活用ができるようにする。
  - ・ 堤体断面が小さくなるので、川裏堤防法尻にドレーンを設置して浸透に対する安全性を確保する。
  - ・ 堤防天端からスロープを設け、境楠へのアクセスを確保する。



現在の境楠



- ◆ 宮川堤の歴史、文化、景観に配慮して境楠周辺の護岸は自然石を用いる。
- ・ 自然石の護岸は、時間が経つに従い、自然石ならではの質感と風合いを醸し出して、宮川堤の魅力を高めることができる。



度会橋上流堤防裏に設置されている自然石護岸（空石積み）



和泉川宮沢遊水地（横浜市）：安山岩（新小松石）



太田川（広島市）：御影石

- ◆ 宮川堤の歴史、文化、景観に配慮して境楠やドンデン場の広場や階段には自然石を用いる。
  - ・ 自然石ならではの質感と風合いを醸し出して、宮川堤の魅力を高めることができる。



自然石舗装（島根県津和野町：本町・祇園丁通り）



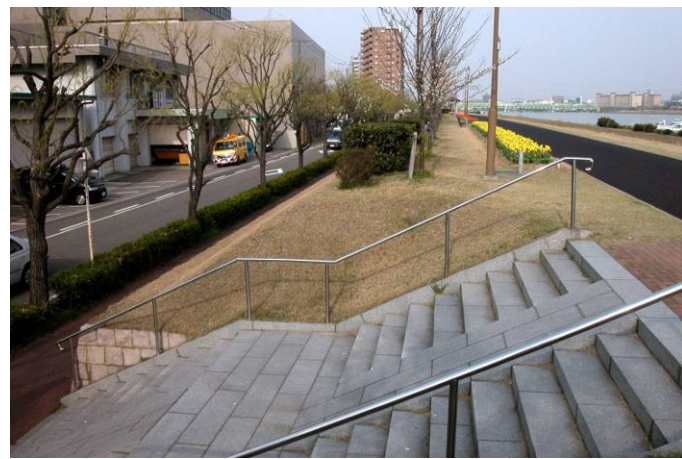
自然石舗装（伊勢市・遷宮館）



白水ダム駐車場（大分県竹田市）



太田川（広島市）



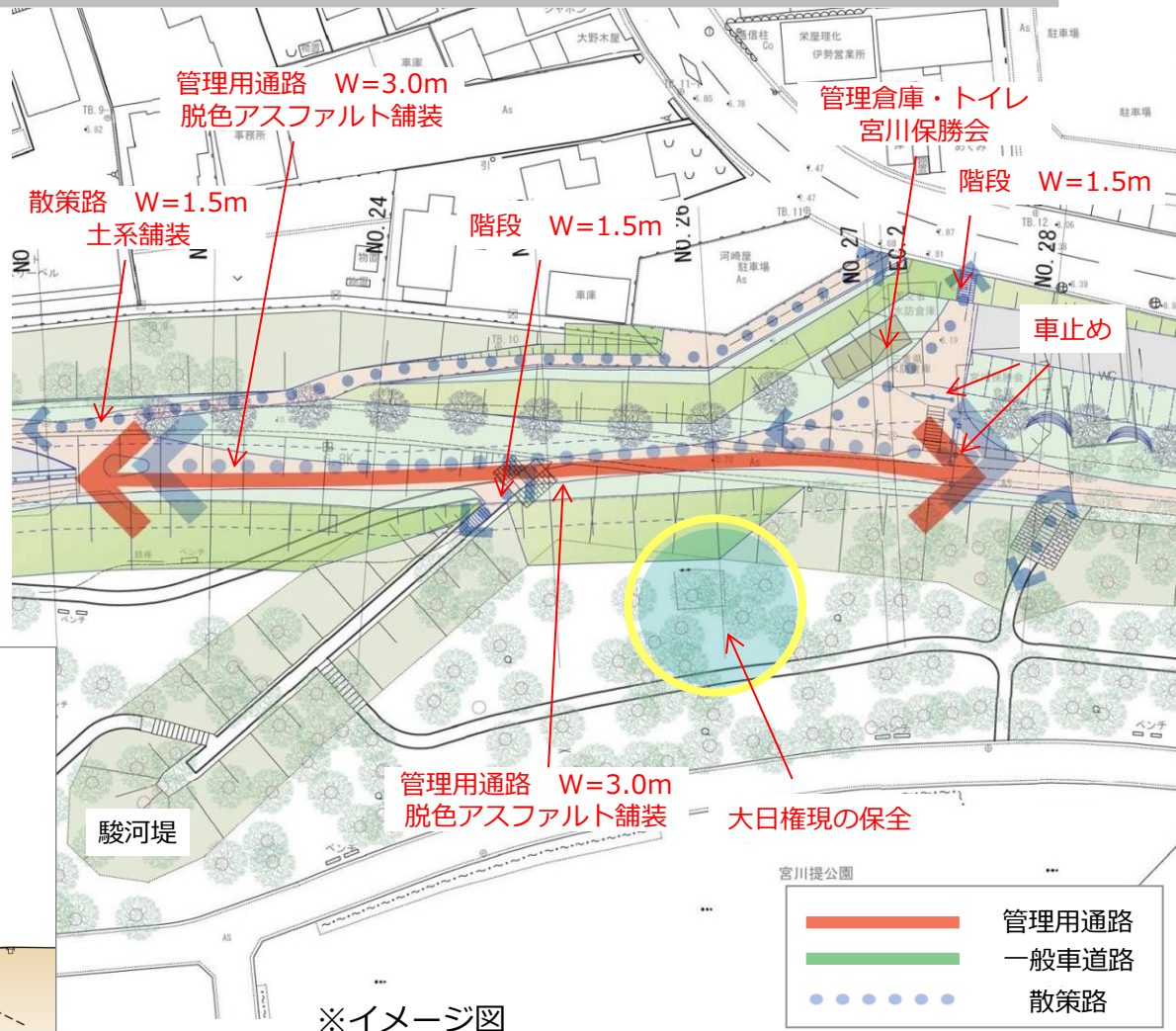
信濃川（新潟市）

# 桜堤区間の景観整備：大日権現社周辺の整備計画

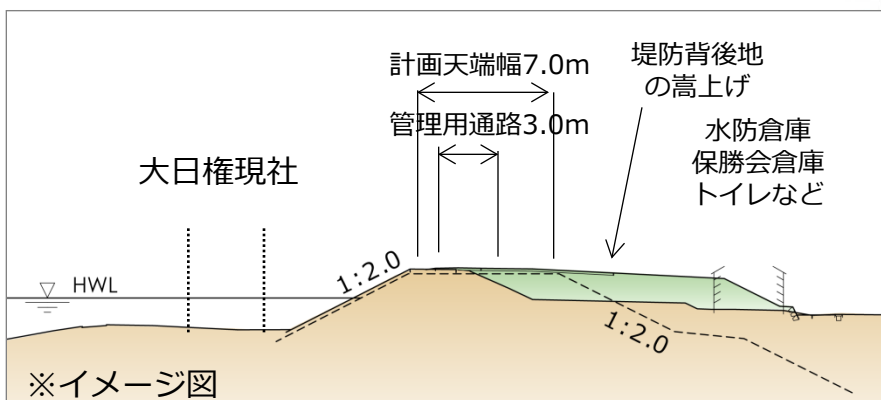
- ◆ 大日権現社は水害がなくなるとを願って、江戸時代に祀られた碑と伝えられており、地域の人々に親しまれている。
- ◆ 大日権現社は、堤防背後地を嵩上げて堤防断面を確保し、現在の位置に存置する。
  - ・ 堤防背後地は、嵩上げにあわせて倉庫等を整理し、桜の維持管理拠点として整備する。



現在の大日権現社



※イメージ図





# 度会橋上下流の景観整備について

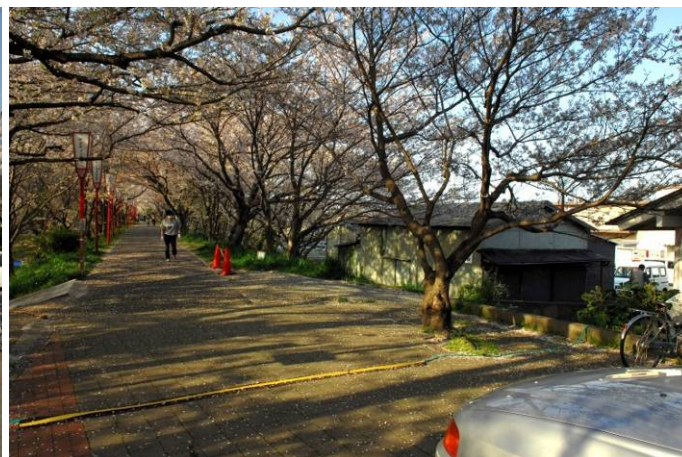


※各箇所整備図はイメージ図

- ・度会橋下流橋詰広場は桜堤のエントランスに位置するが、駐車場、橋詰詰所、公衆トイレ、水防倉庫等が雑然と配置されており、名勝にふさわしい空間とは言い難い。
- ・堤防の背後地（河川敷）を堤防天端に合わせ、施設を再配置するなどして、名勝のエントランスにふさわしい空間に再整備する必要がある。



橋詰詰所



通路より低い位置にある保勝会の建物



通路より低い位置にある水防倉庫



通路より低い位置に公衆トイレ



名勝になじまない建物群（左からトイレ、保勝会、国と県の水防倉庫）

■ 桜堤の歴史や景観にふさわしいエントランス、桜の維持管理拠点として橋詰広場を再生する。

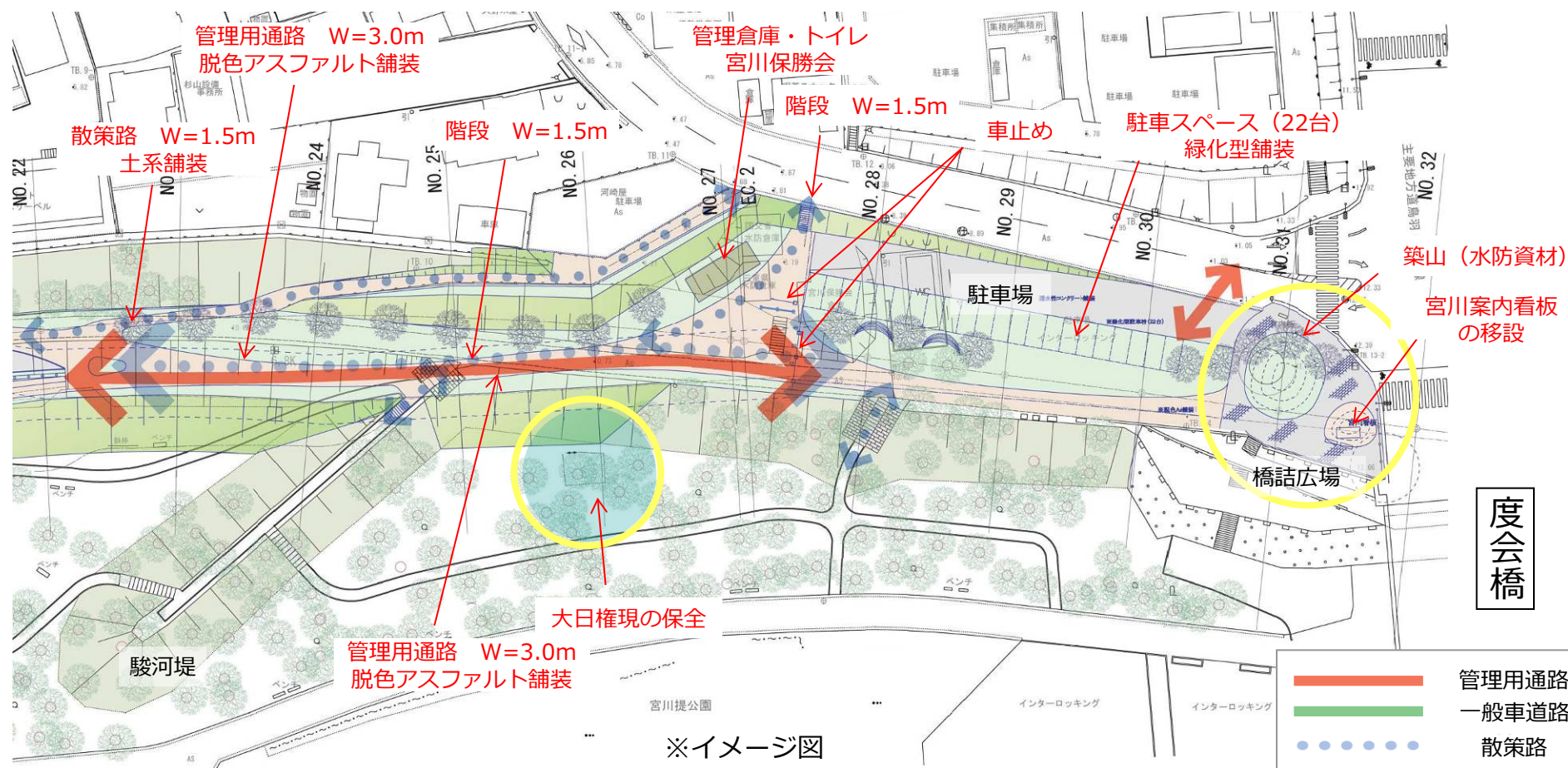
【水防倉庫】堤防背後地を堤防天端の高さまで嵩上げして、水防倉庫は度会橋上流の水防広場に移設する。

【橋詰詰所】使われていない詰所は撤去し、築山を設ける。築山の盛土は、水防資材（土のう）にも活用できる。

【桜の維持管理拠点】公衆トイレは広場の下流端に移設し、保勝会倉庫を併設して桜の維持管理拠点とする。

【駐車場】駐車場は出入口を集約し、緑化型駐車場で再整備する（22台程度）。

【案内看板やサイン】宮川堤の歴史や景観、突出し堤による治水システムなどを解説する総合サインを配置する。





トイレ・倉庫のイメージ（伊勢神宮外宮）



橋詰広場築山のイメージ（伊勢神宮外宮）



月の輪のイメージ（横浜市 玄海田公園）：側帯の桜の脇や小広場に月ノ輪（水防工法のひとつ）の形をした小盛土を配置する。日常的には座るなどの使い方。洪水時には水防資材（土嚢の土）として活用できる。



緑化型駐車場のイメージ（学びの森：岐阜県各務原市）

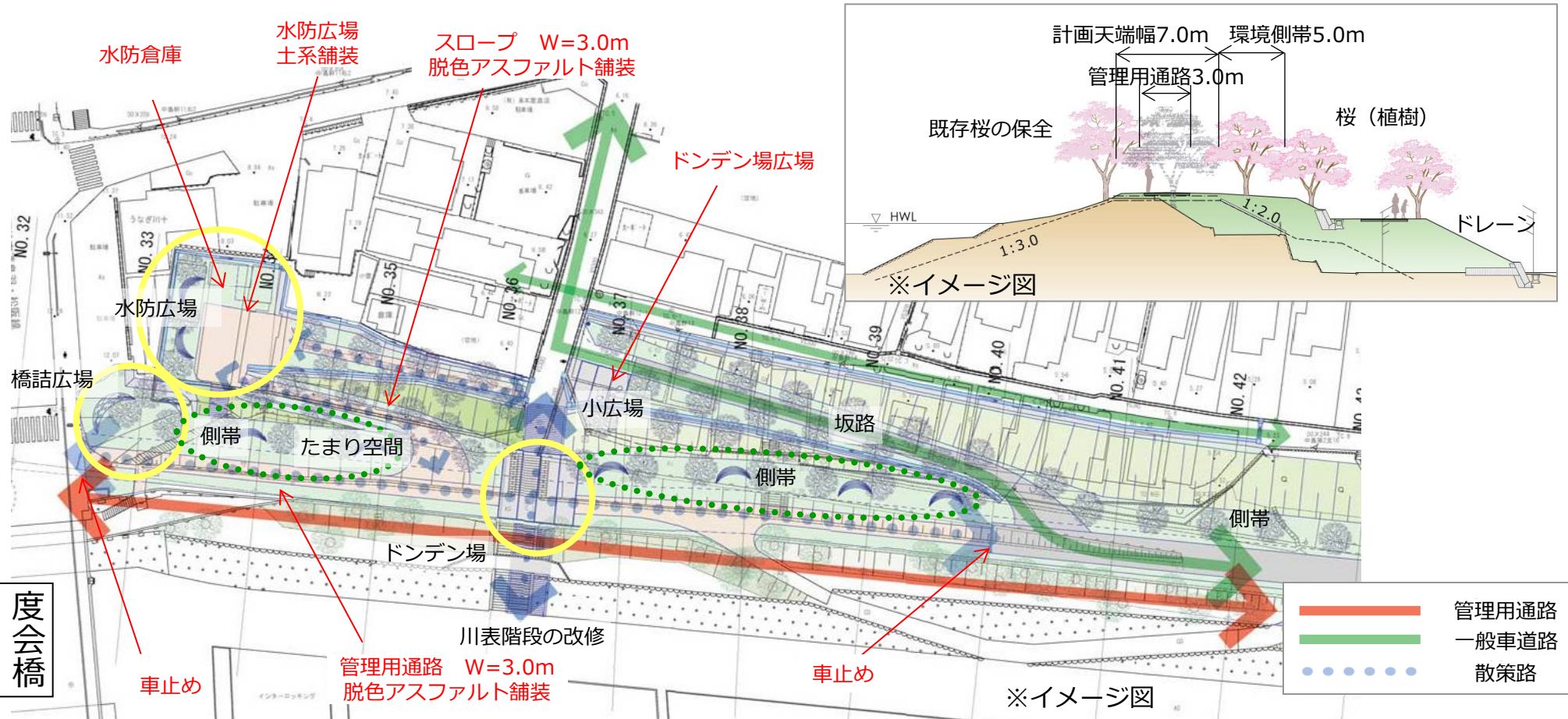
- 度会橋上流も堤防天端のトンネル状の桜が景観的特徴となっているが、度会橋上流は川幅が狭いことから、川裏側（堤内地）に堤防を拡幅する必要がある。
- 柳の渡し跡やお木曳き行事の舞台となるドンデン場などの歴史的文化的な場所を後世に伝える整備が必要である。
- 桜の景観や歴史的な行事が行われる場所を保全し、新しい憩いの場を創出する整備が求められる。



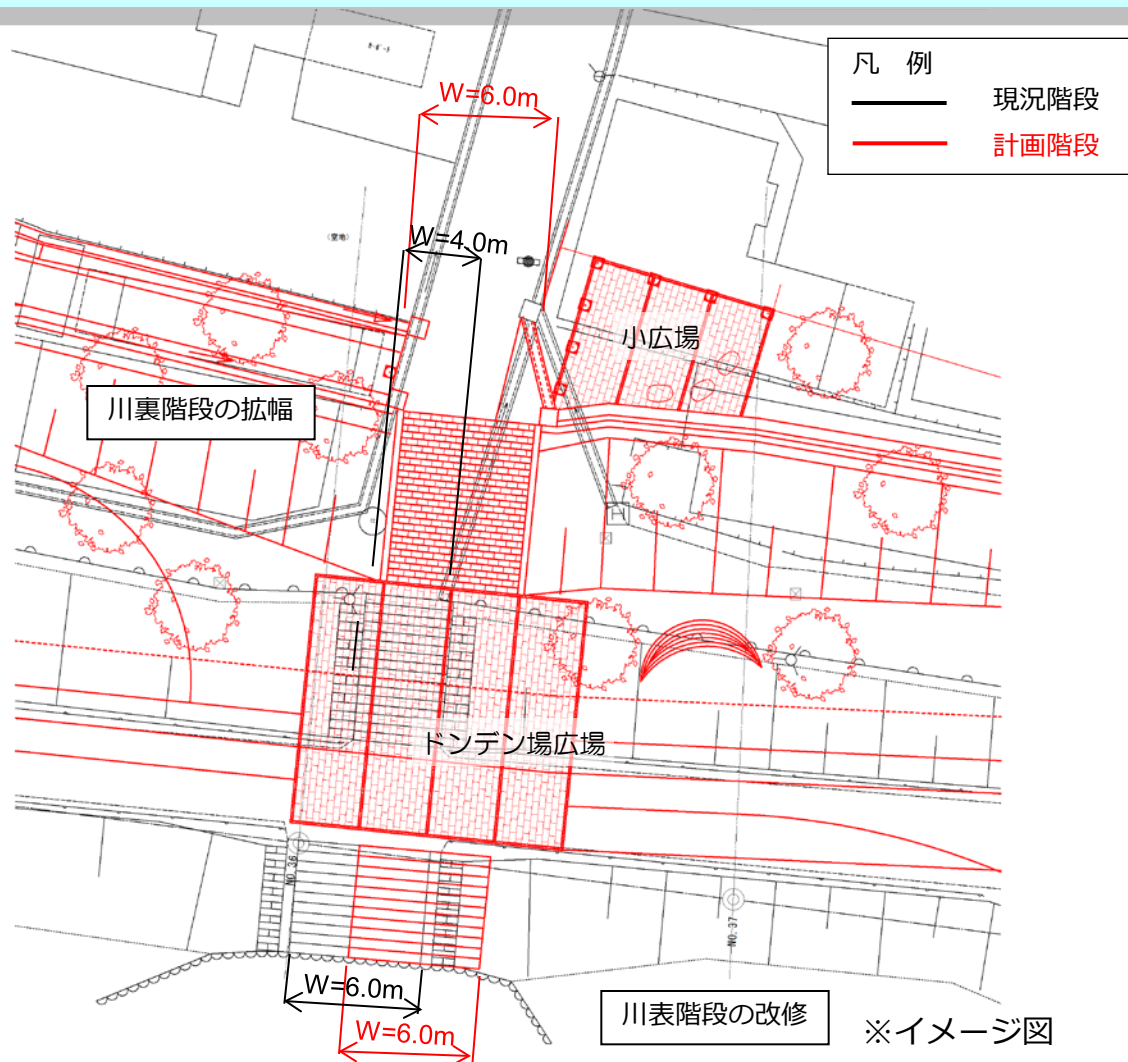
計画堤防断面



- 治水・水防の拠点と歴史や日常の憩いの場が共存し、川への関心を高める場所を創出する。
  - 【桜の保全】川表側の桜並木を保全する。川裏側の既存桜は盛土工事のため伐採するが、川裏側に幅5mの側帯を設けて新規に桜を植樹できるようにする。（桜のトンネル復元）
  - 【水防広場】度会橋上流に水防広場を設け、日常的に憩いの場として利用するとともに、水防活動の拠点とする。
  - 【橋詰広場】たまり空間を設けて、新たな憩いの場を創出する。
  - 【ドンデン場】お木曳き行事の舞台となるドンデン場については、関係者と調整し行事が持続できるように整備する。
  - 【柳の渡し跡】柳の渡し跡の案内看板を配置する。柳の渡しの由来となった柳を植栽する。



- ◆ お木曳き行事の舞台となるドンデン場については、関係者と調整し行事が持続できるように整備する。
- ・ お木曳き行事が行いやすいように、川裏階段工の位置に合わせて、川表階段工も改修する。
- ・ 歴史的文化的な行事に関連する場所であるため、新しく整備する階段や堤防天端舗装は自然石を用いる。
- ・ 川裏側の階段脇に小広場を設け、日常的な憩いの場とするとともに、お木曳き行事の際のたまり場として活用する。



第62回式年遷宮 お木曳き行事 (H18,19)  
写真：伊勢市御遷宮対策事務局

- ◆ 度会橋下流の橋詰広場には、宮川堤の歴史や景観、突出し堤による治水システムなどを解説する総合サインを検討する。
- ◆ ドンデン場には御木曳き行事や貯木池の歴史や賑わいを伝える案内サインについて検討する。
  - ・ 宮川堤という歴史的文化的景観にふさわしいサインデザインとする。



名勝 宮川堤の碑



神宮御用材貯木池跡の碑



案内板 宮川堤



宮川堤植桜碑



案内板 柳の渡し



- ◆宮川堤の歴史や景観、突出し堤による治水システムなどを解説する総合サインの設置箇所
  - ・度会橋下流橋詰広場（桜堤のエントランス）
- ◆突出し堤や渡し場跡などの場所や歴史を伝える案内サインの設置箇所
  - ・棒堤、周防堤、駿河堤、浅間堤
  - ・桜の渡し跡、柳の渡し跡
  - ・境楠
  - ・ドンデン場



## ◆度会橋下流橋詰広場への設置が考えられる総合サインの事例

- 宮川堤の歴史や景観、突出し堤による治水システムなどを解説する総合サインの整備を検討する。



## 石井樋（いしいび）：嘉瀬川（佐賀県）

- \* 1600年代初頭に佐賀藩成富兵庫によって建設された水利システム（皇太子殿下ご成婚記念事業として2015年12月半世紀ぶりに復元された）

## ◆ 突出し堤や渡し場跡への設置が考えられる案内サインの事例

- ・ 突出し堤や渡し場跡などへの設置が考えられる案内サインは、宮川堤という歴史的文化的景観にふさわしいサインデザインとする。
- ・ 案内サインは、治水上、堤防の安全性や洪水の流下に悪影響を及ぼさない構造とする必要がある。

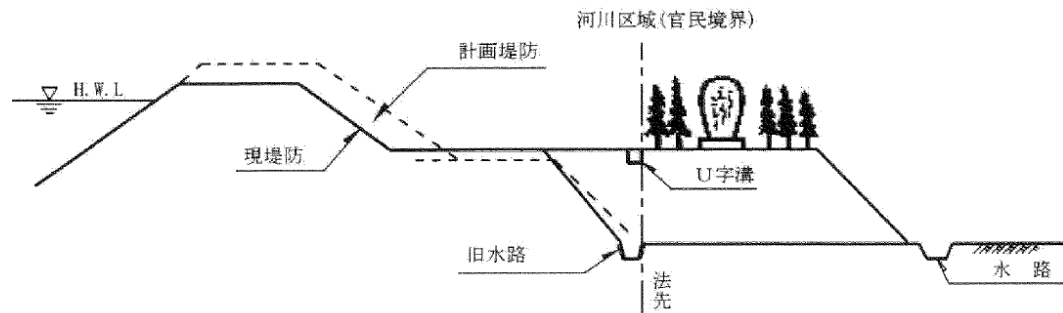
## ■ 記念碑等の堤内盛土の基準

- ・ 敷地は計画堤防裏法先から堤内側に造成し、堤防郭分に水の溜らないようにすること。
- ・ 盛土材は堤体土と同等のものとする。
- ・ 記念碑等の建立等は河川区域外に設けること。……「河川工作物設置審査の手引き」より

## ■ 河川敷等に設ける工作物の基準

- (1)ベンチ、遊具等
- イ) 固定式工作物の地表高は1m以内か。
  - ロ) 洪水時に流失しない構造となっているか。
  - ハ) 工作物の周辺は洗掘防止を目的とした高水敷保護工を設けているか。

「河川工作物設置審査の手引き」より



宮川堤植桜碑 大正6年(1917)  
(宮川右岸7.4k付近)

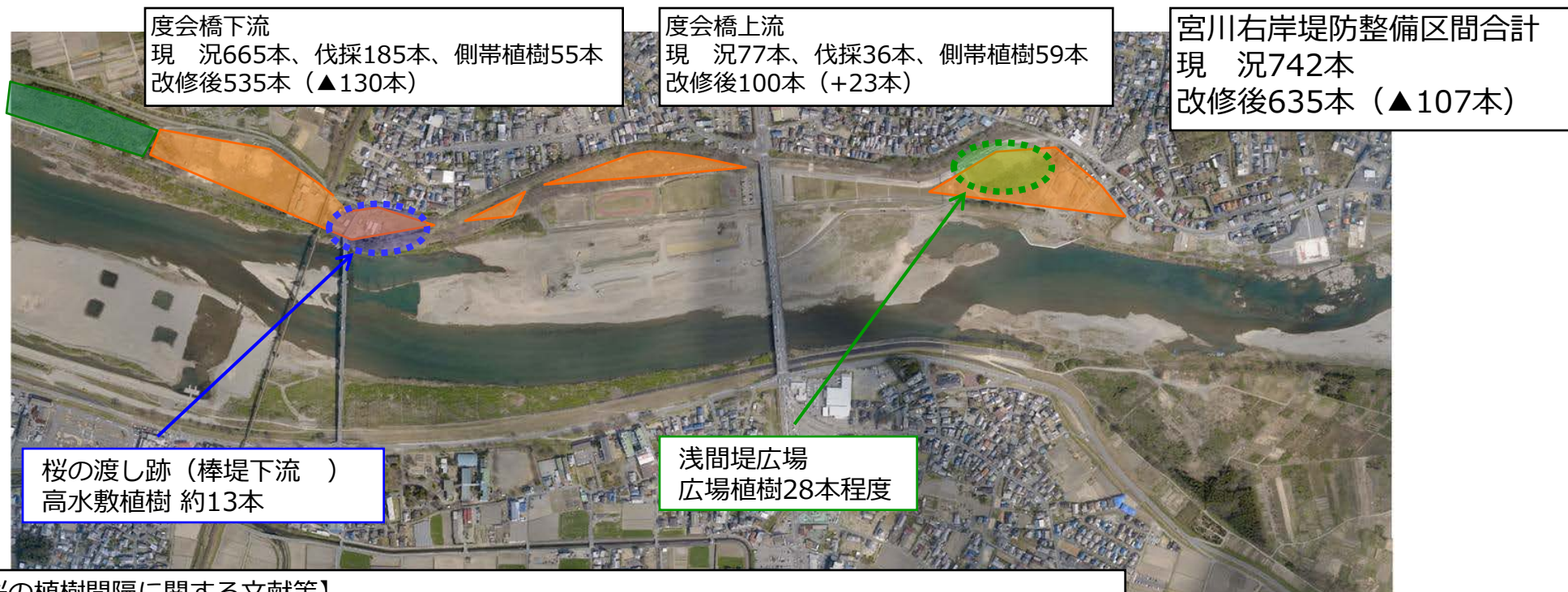


宮川親水公園 桜の渡し  
(宮川左岸6.0k付近)



棒堤下流 桜の渡し  
(宮川右岸6.5k付近)

- ◆河川区域における植樹は、治水上問題が無い場所に限られる。  
 堤防：堤防の定規断面外の側帯  
 高水敷：洪水の流下を阻害しない場所（死水域）、流木化しない場所（流速2m/s以下が目安）
- ◆桜の植樹間隔は、樹木医へのヒアリング、文献等より10mとする。
  - ・間隔が狭いと枝や根が絡み合い、生長を阻害し、テング巣病や病虫害に冒されやすくなる。
  - ・河川区域では頻繁に間引きができない他、間引きするとアンバランスになる可能性がある。



度会橋下流  
 現 況665本、伐採185本、側帯植樹55本  
 改修後535本（▲130本）

度会橋上流  
 現 況77本、伐採36本、側帯植樹59本  
 改修後100本（+23本）

宮川右岸堤防整備区間合計  
 現 況742本  
 改修後635本（▲107本）

桜の渡し跡（棒堤下流）  
 高水敷植樹 約13本

浅間堤広場  
 広場植樹28本程度

- 【桜の植樹間隔に関する文献等】
- ◆ 樹木医による調査意見・・・桜の植樹は10m 間隔、30m<sup>2</sup> に1 本程度が望ましい
  - ◆ 桜つつみ植栽ガイド・・・ソメイヨシノ等、高木性のものは10m 確保が望ましい
  - ◆ 道路設計要領 第13 章 道路緑化・・・樹高8～10m：樹幹距離9～13m
  - ◆ 園芸シリーズ 桜の植え方・育て方・・・ソメイヨシノ等、植栽間隔10m以上
  - ◆ 河川景観における植樹効果の分析・・・河川景観的に好ましいとされる植樹間隔は10～15m

凡 例

- 平面死水域
- 樹木群死水域

- ◆ 高水敷に樹を植えることは、洪水の阻害など、治水上多くの弊害がある。
- ◆ 高水敷の桜の植樹は、治水上支障が無く、適切な管理が行われる場合に限られる。

## ■ 高水敷の樹木は、治水上多くの弊害がある。

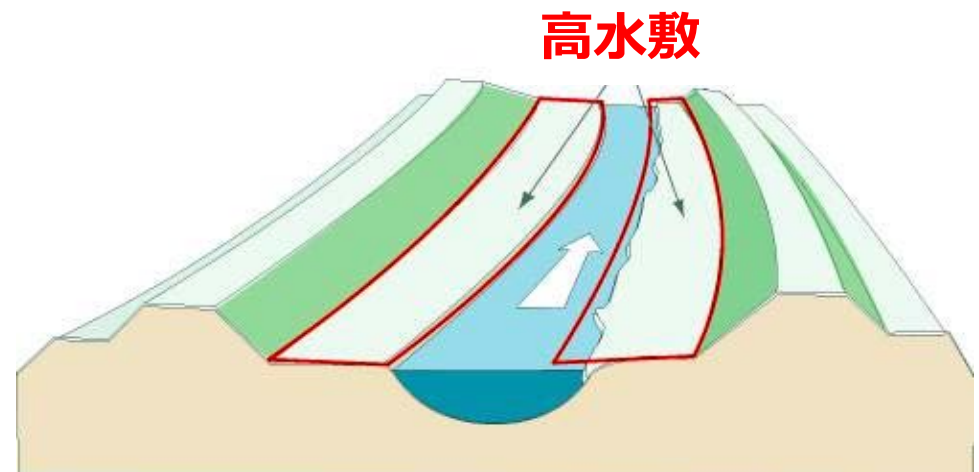
- ① 樹木が洪水の流れを阻害し、水位を上昇させる
- ② 洪水時にゴミが引っかかり、より流れを阻害する
- ③ 流木となって下流の洪水被害を拡大する（橋にかかる、ゴミになる等）

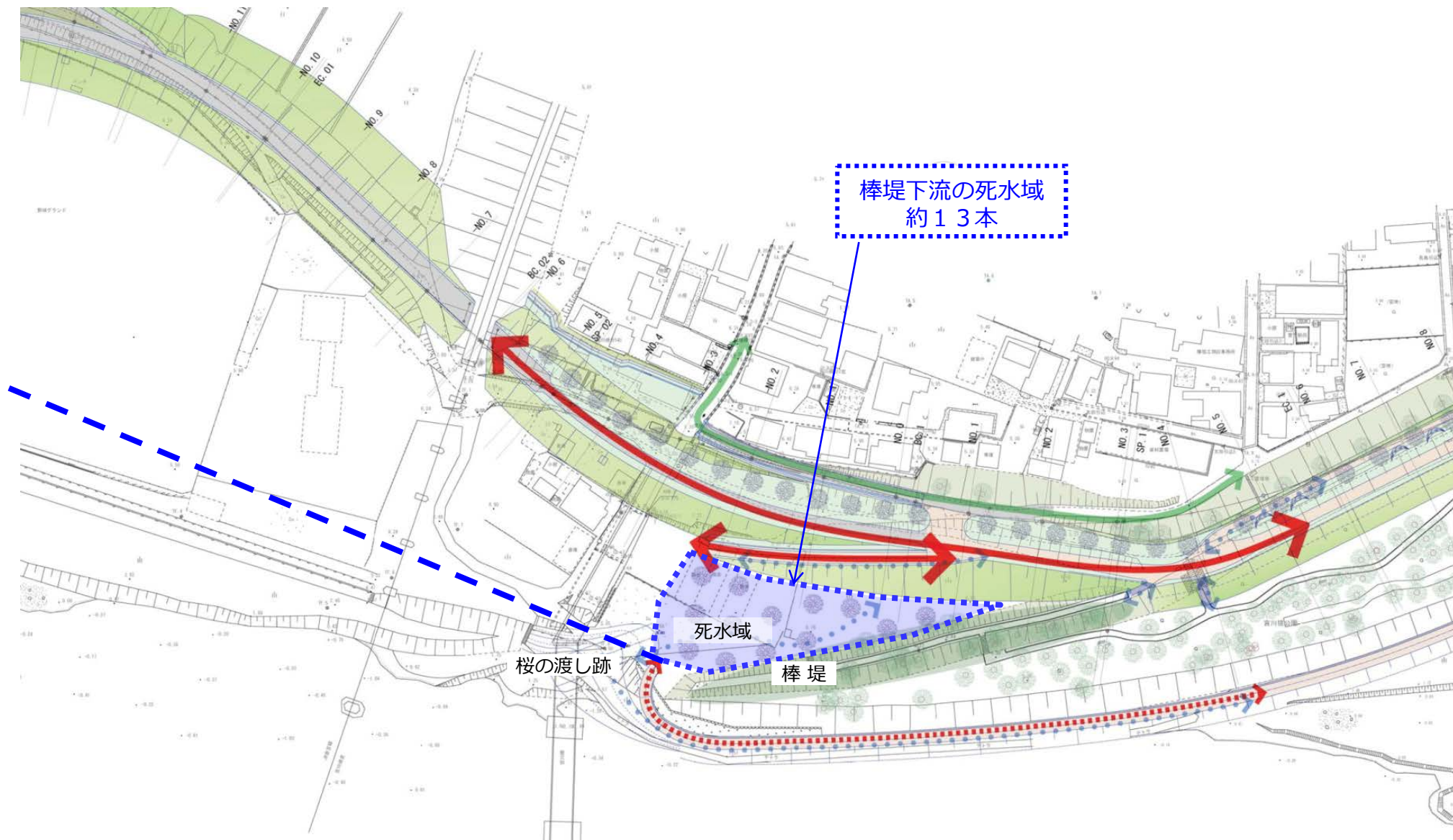
⇒**基本的に河川内には、植樹ができない**

## ■ 「河川区域内における樹木の伐採・植樹基準」 植樹の特例（第15条）で植樹できるもの

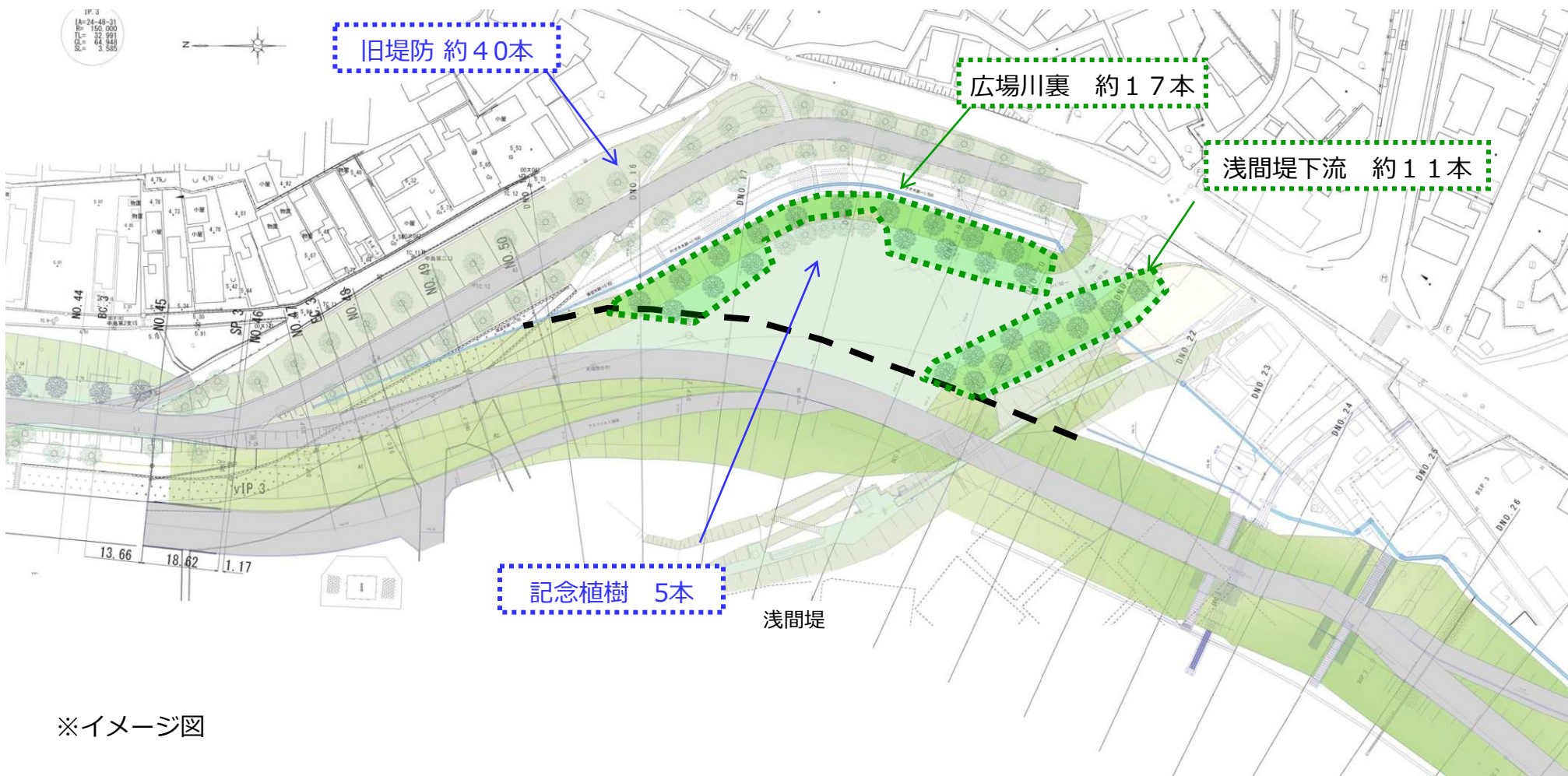
- 治水上効果のある樹林帯、生態系の保全、良好な景観形成を目的
- 数値解析、水理模型実験等により治水上支障のないと認められるもの
- 適切な管理が行われることが条件

⇒**治水上支障のない条件とは**  
樹木の倒伏・流出のおそれがない  
流速2m/sを超えない場所が目安





・棒堤下流の植樹については、桜の渡しの跡の景観整備計画と整合を図る必要がある。 ※イメージ図



※イメージ図

# 桜の伐採、植樹可能本数について

## 宮川右岸堤防改修区間内

	棒堤下流	棒堤～周防守堤	周防守堤～駿河守堤	駿河守堤～度会橋	度会橋下流	度会橋上流	
	①堤防川裏	⑤堤防川裏	⑨堤防川裏	⑬堤防川裏	堤防川裏小計	⑯堤防川裏	合計
立木 現況	8	15	47	56	126	39	165
雑木 現況	0	0	0	1	1	1	2
桜 現況	8	15	47	55	125	38	163
桜 伐採	0	0	4	28	32	35	67
桜 保全	8	15	43	27	93	3	96
桜 植樹	0	0	0	0	0	59	59
桜 植樹後	8	15	43	27	93	62	155

### 堤防天端

	②堤防川表	⑥堤防川表	⑩堤防川表	⑭堤防川表	堤防川表小計	⑰堤防川表	合計	
立木 現況	3	9	36	0	48	39	87	立木 現況
雑木 現況	0	0	0	0	0	0	0	雑木 現況
桜 現況	3	9	36	0	48	39	87	桜 現況
桜 伐採	3	9	35	0	47	1	48	桜 伐採
桜 保全	0	0	1	0	1	38	39	桜 保全
桜 植樹	20	13	22	0	55	0	55	桜 植樹
桜 植樹後	20	13	23	0	56	38	94	桜 植樹後

	③高水敷	⑦高水敷	⑪高水敷	⑮高水敷	高水敷小計	⑱高水敷	合計	
立木 現況	0	110	248	89	447	0	447	立木 現況
雑木 現況	0	4	0	0	4	0	4	雑木 現況
桜 現況	0	106	248	89	443	0	443	桜 現況
桜 伐採	0	21	77	2	100	0	100	桜 伐採
桜 保全	0	85	171	87	343	0	343	桜 保全
桜 植樹	0	0	0	0	0	0	0	桜 植樹
桜 植樹後	0	85	171	87	343	0	343	桜 植樹後

	④棒堤	⑧周防守堤	⑫駿河守堤	突出堤小計	合計	
立木 現況	31	4	29	64	64	立木 現況
雑木 現況	10	2	3	15	15	雑木 現況
桜 現況	21	2	26	49	49	桜 現況
桜 伐採	2	1	3	6	6	桜 伐採
桜 保全	19	1	23	43	43	桜 保全
桜 植樹	0	0	0	0	0	桜 植樹
桜 植樹後	19	1	23	43	43	桜 植樹後

	度会橋下流小計	度会橋上流小計	合計	
立木 現況	685	78	763	立木 現況
雑木 現況	20	1	21	雑木 現況
桜 現況	665	77	742	桜 現況
桜 伐採	185	36	221	桜 伐採
桜 保全	480	41	521	桜 保全
桜 植樹	55	59	114	桜 植樹
桜 植樹後	535	100	635	桜 植樹後

## 宮川右岸堤防改修区間+桜の渡し+浅間堤広場（旧堤含まず）

	棒堤下流	棒堤～周防守堤	周防守堤～駿河守堤	駿河守堤～度会橋	度会橋下流	度会橋上流	
	①堤防川裏	⑤堤防川裏	⑨堤防川裏	⑬堤防川裏	堤防川裏小計	⑯堤防川裏	合計
立木 現況	8	15	47	56	126	39	165
雑木 現況	0	0	0	1	1	1	2
桜 現況	8	15	47	55	125	38	163
桜 伐採	0	0	4	28	32	35	67
桜 保全	8	15	43	27	93	3	96
桜 植樹	0	0	0	0	0	59	59
桜 植樹後	8	15	43	27	93	62	155

### 堤防天端

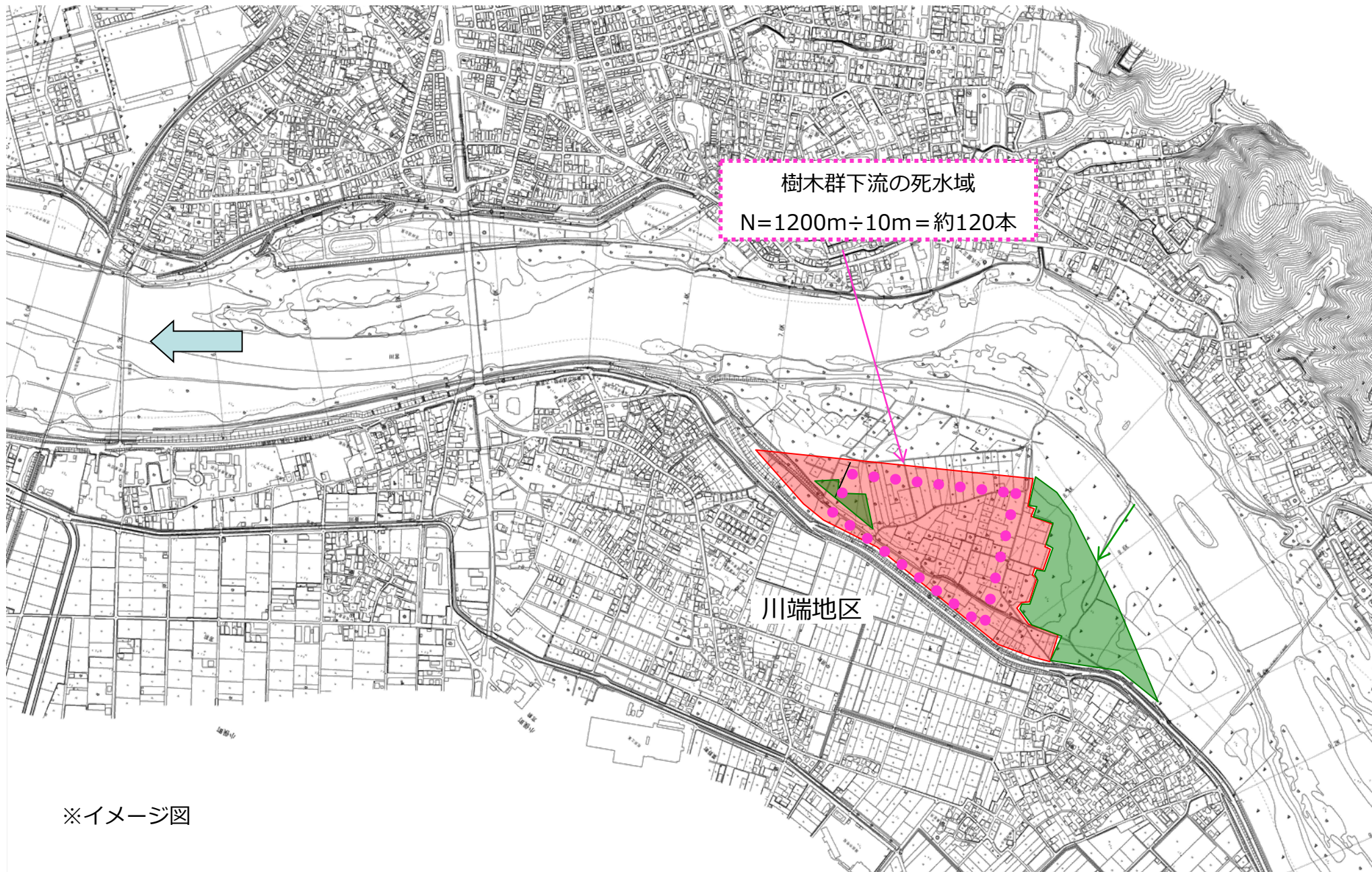
	②堤防川表	⑥堤防川表	⑩堤防川表	⑭堤防川表	堤防川表小計	⑰堤防川表	合計	
立木 現況	3	9	36	0	48	39	87	立木 現況
雑木 現況	0	0	0	0	0	0	0	雑木 現況
桜 現況	3	9	36	0	48	39	87	桜 現況
桜 伐採	3	9	35	0	47	1	48	桜 伐採
桜 保全	0	0	1	0	1	38	39	桜 保全
桜 植樹	20	13	22	0	55	0	55	桜 植樹
桜 植樹後	20	13	23	0	56	38	94	桜 植樹後

	③高水敷	⑦高水敷	⑪高水敷	⑮高水敷	高水敷小計	⑱高水敷	合計	
立木 現況	0	110	248	89	447	0	447	立木 現況
雑木 現況	0	4	0	0	4	0	4	雑木 現況
桜 現況	0	106	248	89	443	0	443	桜 現況
桜 伐採	0	21	77	2	100	0	100	桜 伐採
桜 保全	0	85	171	87	343	0	343	桜 保全
桜 植樹	13	0	0	0	13	0	13	桜 植樹
桜 植樹後	13	85	171	87	356	0	356	桜 植樹後

	④棒堤	⑧周防守堤	⑫駿河守堤	突出堤小計	浅間堤広場	合計	
立木 現況	31	4	29	64	0	64	立木 現況
雑木 現況	10	2	3	15	0	15	雑木 現況
桜 現況	21	2	26	49	5	54	桜 現況
桜 伐採	2	1	3	6	0	6	桜 伐採
桜 保全	19	1	23	43	5	48	桜 保全
桜 植樹	0	0	0	0	28	28	桜 植樹
桜 植樹後	19	1	23	43	33	76	桜 植樹後

	度会橋下流小計	度会橋上流小計	合計	
立木 現況	685	78	763	立木 現況
雑木 現況	20	1	21	雑木 現況
桜 現況	665	82	747	桜 現況
桜 伐採	185	36	221	桜 伐採
桜 保全	480	46	526	桜 保全
桜 植樹	68	87	155	桜 植樹
桜 植樹後	548	133	681	桜 植樹後





※イメージ図

